



# 東北新卒者就職応援プラン

東日本大震災被災地の新卒者の厳しい就職環境を踏まえ、1人でも多くの新卒者が就職できるよう、文部科学省・厚生労働省・経済産業省（中小企業庁）の連携により「東北新卒者就職応援プラン」を実施します。

## 被災地の新卒者に対する今後の支援（当面の取組）

### ① ハローワークと学校等の連携による地元求人の開拓（文科・厚労）

ハローワークと学校等が連携し、関係機関の長の連名による要請書の活用や学校等との合同求人開拓の実施などにより、地元求人を1件でも多く確保します。



#### 【これまでの取組】（下線部が新たな取組）

- 被災地において求人開拓等を行うだけでなく、文部科学大臣、厚生労働大臣及び経済産業大臣の連名により、主要経済団体等に対し、厳しい就職環境にある新卒者の採用拡大を要請しました（7月8日）。
- 岩手労働局：岩手労働局長・岩手県知事・盛岡市長の連名により、県内主要経済団体7団体に要請訪問しました（6月16日・17日）。また求人確保に向けて、ハローワークのジョブサポーター等が、岩手県の就業支援員と連携した事業所訪問、求人開拓を実施しています。（7月～）。
- 宮城労働局：宮城労働局長・宮城県知事・仙台市長・宮城県教育委員会教育長・仙台市教育委員会教育長の連名により、宮城県内経済団体5団体に要請訪問しました（7月20日）。また県内27主要団体等に要請書を送付しました。さらに、求人確保に向けて、ハローワークのジョブサポーター等が事業所訪問による求人開拓を実施しています。
- 福島労働局：福島労働局長・福島県知事・福島県教育委員会教育長の連名により、県内経済団体5団体に要請訪問しました（7月14日・15日）。県内4地区でジョブサポーターと福島県の就職促進支援員との連絡会議を開催し、高校生の就職支援の連携方法について話し合いました（8月23日・24日・30日・31日）。また、求人確保に向けて、ハローワークのジョブサポーター等が事業所訪問による求人開拓を実施しています。

## ② ハローワークの全国ネットワークを活用した首都圏等における求人の確保（文科・厚労）

県外での就職を希望する学生・生徒のために、被災地のハローワークと首都圏のハローワークが連携し、求人を確保します。



### 【これまでの取組】（下線部が新たな取組）

- 被災地の生徒の就職希望地・職種を調査し、これに基づいた求人開拓を8月に集中的に実施し、全国で就職機会を確保します。なお、特に希望が多い首都圏の労働局長に対しては、厚生労働大臣から徹底した取組を指示しました（7月29日）。また、8月末現在で987人分の被災新規高卒者向けの求人を開拓し、今後も被災者向け求人の開拓を実施いたします。
- 文部科学大臣及び厚生労働大臣の連名で、経済団体及び業界団体計257団体に対し、被災地の新規高卒者の採用拡大の要請書を送付しました（7月29日）。
- 笠文部科学大臣政務官及び小林厚生労働大臣政務官が日本経済団体連合会・全国中小企業団体中央会・日本商工会議所を訪問し、被災地の新規高卒者のための求人提出等を依頼しました（8月4日・11日）。
- 文部科学省から各教育委員会等に対して、被災高校生の就職に対する協力を求める依頼文書を発出しました。（7月29日）
- 首都圏の労働局・ハローワーク等が開催する高校生向け企業説明会等に、被災地の高校の進路指導担当に出席してもらい、企業に対し、自校のアピールをしてもらいました（実施回数：11回（6月21日～7月29日）、参加被災地域進路担当者：91人）。

## ③ ジョブサポーターが学校を訪問しての支援（文科・厚労）

ジョブサポーターが学校を訪問し、きめ細かな就職相談や求人情報の提供を実施します。

#### ④ 被災地等における就職面接会等の開催（文科・厚労・経産）

##### 【主に新規高校卒業予定者を対象にした取組】

被災地において、高校生を対象にした地元企業の就職面接会等を開催します。また、首都圏の企業を被災地に集めた企業説明会を開催します（別紙1参照：今後随時追加予定）。

（主なもの）

- ・ 10月14日 被災地の生徒を積極的に採用する首都圏の企業による就職面接会を仙台で開催予定

「がんばろう！東北 新規高卒者就職面接会」

※ 岩手・宮城・福島の各地域から仙台の会場への交通手段も用意

##### 【主に新規大学卒業予定者等を対象にした取組】

- 被災地などにおいて、新規大学卒業予定者等を対象にした就職面接の機会を継続的に提供します。

（別紙2参照）

（9月5日時点の開催予定）

- ・ 9月24日 「就職応援フェア in 郡山」 （開催場所：福島）
- ・ 9月27日 「就職応援Career Forum」 （開催場所：宮城）
- ・ 9月29日 「就職応援フェア in 盛岡」 （開催場所：岩手）
- ・ 11月3日 「DREAM-MATCH LIVE」 （開催場所：宮城）

※ このほか10月以降も「就職応援フェア」を福島県で開催予定。



##### 【これまでの取組（下線部が新たな取組）】

- ・ 6月23日 「がんばろう！東北 就職応援フェア in 郡山」 （開催場所：福島）  
参加企業数： 33社 参加者数： 382人
- ・ 7月22日 「もりおか就職面接会」 （開催場所：岩手）  
参加企業数： 33社 参加者数： 335人
- ・ 7月22日 「復興へ頑張ろう！みやぎ」新規大卒等就職ガイダンス （開催場所：宮城）  
参加企業数： 129社 参加者数： 1,082人
- ・ 8月18日 「就職応援Career Forum in 盛岡」 （開催場所：岩手）  
参加企業数： 33社 参加者数： 232人

- 被災地外での就職を希望する学生を対象に、交通手段・宿泊をセットにした就職面接会ツアーを開催します。

(8月末時点の開催予定)

- ・ 9月20日 「被災新卒者専用 埼玉・東京就職応援面接会」 (開催場所：埼玉)
- ・ 11月2日 「第2回新規大卒者等合同就職面接会」 (開催場所：東京)
- ・ 2月(予定) 「第3回新規大卒者等合同就職面接会」 (開催場所：東京) ※詳細は調整中



#### 【これまでの取組】

- ・ 7月7日 「近畿ブロック大学等就職フェア2011」 (開催場所：大阪)  
参加企業数：のべ221社 参加者数： 2,870人 (うち被災学生： 72人)
- ・ 7月12日～15日 「新規大卒者等合同就職面接会」 (開催場所：東京)  
参加企業数： 144社 参加者数：のべ1,478人 (うち被災学生：のべ120人)

- 被災地に通年にわたり面接会場を設置し、被災地のハローワークと首都圏のハローワークとの連携により、東北地方で勤務できる企業などを中心とした就職面接会を機動的に開催します。

- ・ 首都圏での就職活動を希望する学生に対しては、首都圏での担当のジョブサポーターを決定し、就活についての相談にきめ細かに応じるなど就職までの継続した支援を実施します。

### ⑤ 就活のための宿泊施設の提供 (文科・厚労)

首都圏で就職活動を行う被災地域の学生・生徒(3年以内の既卒者を含む。)の皆様、(独)国立青少年教育振興機構(国立利根川記念青少年総合センター)及び(独)労働政策研究・研修機構(労働大学校)の協力により、宿泊施設を無料で提供しています。

(お問い合わせ) 国立利根川記念青少年総合センター(東京都渋谷区) 03-3469-2525 / 労働大学校(埼玉県朝霞市) 048-463-1021

- ・ 宿泊者には、新卒応援ハローワークのジョブサポーターによる支援などの紹介を行います。



#### 【これまでの取組】

- ・ 4月28日以降、のべ1,577名を受入れ (9月1日時点)